



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社
コード番号 9110 URL <https://www.nsuship.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷水 一雄
問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 小林 勝利 TEL 03-6895-6407
四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	130,836	45.9	20,673	82.9	24,128	130.6	19,426	122.8
2022年3月期第2四半期	89,698	36.5	11,301	533.2	10,464	—	8,719	197.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 18,705百万円 (103.3%) 2022年3月期第2四半期 9,199百万円 (281.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	824.33	—
2022年3月期第2四半期	369.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	291,593	132,415	45.4
2022年3月期	274,871	118,189	43.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 132,415百万円 2022年3月期 118,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	95.00	—	190.00	285.00
2023年3月期	—	170.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	170.00	340.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,000	10.7	29,000	8.6	30,000	12.8	26,000	10.3	1,103.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	23,970,679株	2022年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	404,526株	2022年3月期	404,351株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	23,566,261株	2022年3月期2Q	23,566,552株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2022年10月31日（月）に当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日までの6ヶ月間）の外航海運事業において、ドライバルクにつきましては、今後の環境規制の不透明感により引き続き新造船竣工量が限定的であることや、地政学的背景によりトレードパターンが変化し輸送トンマイルが増加したことで、市況は当中間期前半においては堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症に対する港湾の検疫体制緩和に伴う滞船の解消や、中国のゼロコロナ政策による景気下押し等により、後半は下落する局面もありました。ケープ型撒積船（18万重量トン型）市況は、4～6月は主要5航路平均用船料が平均2万ドル強と堅調に推移しましたが、8月以降は滞船が解消され実質的な船腹供給が増えたことに加え、ゼロコロナ政策や不動産市況悪化による中国経済の失速、資源高による世界経済の不透明感を背景に、一時は3千ドルを下回るほど大きく下落しました。パナマックス型以下の中小型撒積船（2～8万重量トン型）市況は、ロシア・ウクライナ情勢を背景に欧州の石炭調達先がロシアからシフトしたことによる輸送トンマイルの増加や、インドの石炭輸入量増加、マイナーバルクの活発な荷動き等により、船腹需給が引き締まったことで総じて堅調に推移しました。またVLGC（大型LPG運搬船）市況は、当中間期を通して底堅い推移となりました。

このような状況下、長期契約による安定収益に加え、期中に進行した円安が収益を大きく押し上げ、前年同期比で増収増益となりました。

内航海運事業のうち、ドライバルクにつきましては、鉄鋼関連の貨物は、原料輸送部門の輸送量は概ね計画通りでしたが、鋼材輸送部門の輸送量は半導体の供給制約を背景とする自動車生産停滞により当初の計画を下回りました。セメント関連貨物は、専用船を中心に堅調な稼働に支えられた一方で、電力関連貨物につきましては、火力発電所のトラブル等の影響により当初の計画を下回りました。タンカーにつきましては、LNG輸送は新規航路の運用開始が輸送量増に寄与した一方で、LPG輸送は季節的な需要減退により輸送量が低迷しました。

このような状況下、内航海運事業の業績は前年同期比で増収減益となりました。

燃料油価格につきましては、当第2四半期連結累計期間の平均消費価格（全油種）は、トン当たり約705ドルと、前年同期比では約244ドル上昇となりました。また、対米ドル円相場は期中平均で130円83銭と、前年同期比では21円50銭の円安となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は1,308億36百万円（前年同期比45.9%増）、営業利益は206億73百万円（前年同期は113億1百万円の営業利益）、経常利益は241億28百万円（前年同期は104億64百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は194億26百万円（前年同期は87億19百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は約9割、内航海運事業の割合は約1割となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,915億93百万円となり、前連結会計年度末比167億22百万円の増加となりました。このうち流動資産は主として現金及び預金の増加により、213億48百万円増加しました。固定資産は主として船舶の減少により、46億26百万円減少しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、24億95百万円増加の1,591億77百万円となりました。流動負債は主として短期借入金の増加により136億63百万円増加しました。固定負債は主として長期借入金の減少により111億67百万円減少しました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払いの差引による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ142億26百万円増加し1,324億15百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期			
	前回予想	今回予想	前回予想比	
			増減額	増減率
売上高	217,000	217,000	0	0.0%
営業利益	29,000	29,000	0	0.0%
経常利益	30,000	30,000	0	0.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	26,000	26,000	0	0.0%

※前回予想(2022年7月29日)及び今回予想における第3・4四半期の対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

第3・4四半期前提	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=130.00円	US\$=135.00円
燃料油価格 ※	US\$700/MT	US\$660/MT

※適合油を含む全油種平均価格を基に算出

第2四半期連結累計期間の業績、及び第3四半期以降の当社を取り巻く事業環境を踏まえ、2022年7月29日付けで公表した2023年3月期通期の連結業績予想を上述の通り据え置きます。第3四半期以降の前提条件につきましては、対米ドル円換算率を135円、燃料油価格は平均消費価格(全油種)をトン当たり660ドルと予想しております。

なお、当社は株主への利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、年間配当性向を「連結業績ベースの概ね30%」とする方針をとっております。

2023年3月期の配当予想につきましては、2022年7月29日付けで公表した通り、年間配当金を1株当たり340円とし、中間配当を1株当たり170円、期末配当を1株当たり170円と予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,265	33,187
受取手形、営業未収金及び契約資産	29,084	38,096
有価証券	9,000	5,000
棚卸資産	12,148	15,627
前払費用	4,110	6,303
デリバティブ債権	839	546
その他流動資産	3,145	3,188
貸倒引当金	△31	△37
流動資産合計	80,561	101,909
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	181,526	175,415
建物（純額）	297	288
土地	397	397
建設仮勘定	2,218	3,356
その他有形固定資産（純額）	110	166
有形固定資産合計	184,548	179,623
無形固定資産	1,909	1,749
投資その他の資産		
投資有価証券	3,945	3,525
長期貸付金	24	11
繰延税金資産	1,579	2,414
退職給付に係る資産	1,743	1,800
その他長期資産	562	562
投資その他の資産合計	7,853	8,312
固定資産合計	194,310	189,684
資産合計	274,871	291,593

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	12,315	15,014
短期借入金	15,323	20,252
リース債務	4,380	4,207
未払金	91	175
未払費用	190	226
未払法人税等	4,991	5,339
契約負債	3,288	7,401
賞与引当金	627	620
役員賞与引当金	68	14
デリバティブ債務	1,167	1,217
その他流動負債	5,715	7,354
流動負債合計	48,155	61,817
固定負債		
長期借入金	103,991	92,425
繰延税金負債	643	648
特別修繕引当金	3,761	4,142
退職給付に係る負債	131	145
その他固定負債	0	0
固定負債合計	108,527	97,360
負債合計	156,682	159,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	90,527	105,475
自己株式	△996	△996
株主資本合計	117,013	131,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,373	1,041
繰延ヘッジ損益	△240	△635
為替換算調整勘定	△61	△50
退職給付に係る調整累計額	105	99
その他の包括利益累計額合計	1,177	456
純資産合計	118,189	132,415
負債純資産合計	274,871	291,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	89,698	130,836
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	75,637	106,819
売上総利益	14,061	24,016
一般管理費	2,760	3,343
営業利益	11,301	20,673
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	44	126
持分法による投資利益	3	—
為替差益	246	3,289
その他営業外収益	114	618
営業外収益合計	409	4,038
営業外費用		
支払利息	694	562
持分法による投資損失	—	3
デリバティブ損失	544	2
その他営業外費用	6	15
営業外費用合計	1,245	583
経常利益	10,464	24,128
特別利益		
固定資産売却益	363	1
投資有価証券売却益	—	77
特別利益合計	363	78
税金等調整前四半期純利益	10,827	24,206
法人税等	2,108	4,780
四半期純利益	8,719	19,426
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,719	19,426

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	8,719	19,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	△333
繰延ヘッジ損益	377	△394
為替換算調整勘定	△1	△53
退職給付に係る調整額	△49	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	33	64
その他の包括利益合計	480	△721
四半期包括利益	9,199	18,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,199	18,705

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,827	24,206
減価償却費	8,921	8,876
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△8
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60	△54
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	138	351
退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債の増減額	△99	△52
受取利息及び受取配当金	△46	△131
支払利息	694	562
為替差損益 (△は益)	△20	△1,425
持分法による投資損益 (△は益)	△3	3
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△363	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△77
営業債権の増減額 (△は増加)	△7,802	△9,011
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,046	△3,475
営業債務の増減額 (△は減少)	△477	2,683
未払金の増減額 (△は減少)	74	△19
その他	3,696	3,328
小計	13,438	25,763
利息及び配当金の受取額	101	131
利息の支払額	△704	△546
法人税等の支払額	△679	△5,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,157	20,316
投資活動によるキャッシュ・フロー		
船舶の取得による支出	△1,017	△1,639
船舶の売却による収入	3,028	—
その他の固定資産取得による支出	△29	△33
その他の固定資産売却による収入	—	1
投資有価証券の取得による支出	△2	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	172
その他	△328	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,652	△1,489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	—
長期借入れによる収入	2,715	—
長期借入金の返済による支出	△11,322	△8,422
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△1,180	△4,465
その他	△175	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,263	△13,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	1,155
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,565	6,922
現金及び現金同等物の期首残高	27,613	31,215
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,178	38,137

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	77,933	11,765	89,698	—	89,698	—	89,698
外部顧客への 売上高	77,933	11,765	89,698	—	89,698	—	89,698
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	4	4	185	190	△190	—
計	77,933	11,769	89,702	185	89,887	△190	89,698
セグメント利益	10,702	589	11,291	8	11,299	2	11,301

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	118,171	12,664	130,836	—	130,836	—	130,836
外部顧客への 売上高	118,171	12,664	130,836	—	130,836	—	130,836
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	6	6	186	191	△191	—
計	118,171	12,670	130,841	186	131,027	△191	130,836
セグメント利益	20,400	275	20,675	△4	20,672	1	20,673

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。